

弘前大学

HIROSAKI
UNIVERSITY



Start

基本情報

● 設立

－ 1949年5月31日

現在は、5学部、8大学院研究科、
2研究所、4学内共同教育研究施設等
を有する総合大学

● 学長

－ 福田 眞作 (令和年2年4月1日～)



● スローガン

－ 世界に発信し、
地域と共に創造する弘前大学

● 学生数 (学部・大学院)

－ 6,936名 (令和6年5月1日現在)

● 職員数

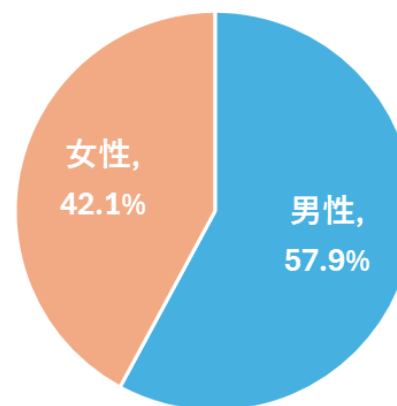
－ 2,051名 (令和6年5月1日現在の常勤教職員数)

－ うち事務・技術職員 約380名

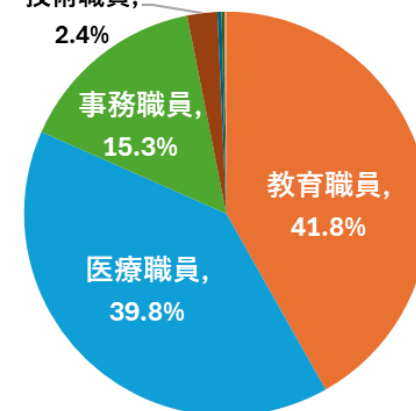
－ 直近5年の新採用者 (法人試験のみ)

男女比 男性4：女性6

事務・技術職員 男女比



全体に占める
事務職員の割合



所在地（青森県弘前市）

○文京町キャンパス

人文社会科学部，教育学部，理工学部，農学生命科学部の4学部と
総務部，財務部，学務部，施設環境部，研究推進部，社会連携部，附属図書館など

○本町キャンパス

医学研究科，保健学研究科，医学部附属病院，
被ばく医療総合研究所 など

○学園町地区

附属幼稚園、小学校、中学校

○富野町地区

附属特別支援学校

その他（弘前市以外）

- ・ 藤崎農場（藤崎町）
- ・ 金木農場（五所川原市）
- ・ 白神自然環境研究センター（西目屋村）
- ・ 地域戦略研究所（食料科学研究部門）（青森市）
- ・ 東京事務所（東京都港区西新橋）



弘前大学周辺マップ



弘前市の中心となっている弘前駅の近くに教職員の9割以上が所属する文京町・本町キャンパスがあります。

- 概ね弘前市内での異動のみ
⇒ 距離が近いので引っ越しの心配がない
- 弘前駅周辺に商業施設・飲食店等がコンパクトにまとまっている
- 弘前駅を起点とした循環バスがあるため市内を移動するにも便利
- 桜の名所 弘前公園がすぐ近くに！

事務組織

事務局

- ・ 総務部
- ・ 学務部
- ・ 研究推進部
- ・ 財務部
- ・ 施設環境部
- ・ 社会連携部

その他組織

- ・ 国際連携本部
- ・ 被ばく医療総合研究所
- ・ 地域戦略研究所
- ・ 附属図書館

各学部等事務部

- ・ 人文・地域研究科
- ・ 教育学部
- ・ 医学研究科
- ・ 保健学研究科
- ・ 理工学研究科
- ・ 農学生命科学部
- ・ 医学部附属病院

— 総務課

— 経営企画課

— 経理調達課

— 医事課

— 本町地区施設室

業務内容

- 総務系

会議，行事運営，規則等の制定，学部等の設置，広報，情報，人事・給与，職員支援

- 財務系

予算要求，決算，財務諸表作成，収入金管理，物品購入

- 学務系

学生の入学から卒業までの手続き，窓口対応，課外活動，授業，留学生受入

- 研究協力系

研究戦略の企画立案，競争的研究費獲得支援，産学官連携推進，知的財産等の管理運用等

- 附属病院

医療事務（患者の入退院手続き，診療報酬請求業務）

Topics 1

地元産品で地域と弘大生をつなぐプロジェクト

弘前大学と包括連携協定を結んでいる県内市町村が、選りすぐりの地元産品や観光資源などの魅力を伝え、産品の消費拡大、旅行者の増加、将来的な関係人口の増加につなげることを目的としたPRプロジェクトです。

学生食堂等で地元産品を活用したメニューを低価格で提供し、会場には多くの学生が訪れ大盛況となりました。



市町村の魅力を伝える！これを機縁に **Go to 市町村！**
 12/11～15
11月 12日 13日 14日 15日
 本学と包括連携協定を結んでいる青森県内17市町村と協働で、地元産品を活用した市町村のPR事業を弘前大学構内で実施します。地元産品や観光資源などの各市町村の魅力を伝え、産品の消費拡大、旅行者の増加、将来的な関係人口の増加につなげることを目的としています。当日は、魅力的な地元産品が提供されますので、ぜひ、会場にお越しください。

地元産品を活用したメニューが低価格で提供されます。

学生食堂(文京町、本町)
 早割オムライス(平川市) 東通牛(東通町) メバル(中泊町) にんにく(田子町) 菜を用いたスイーツ(野々次町)

スコラム(文京町)
 大豆のクリームソーダージュ(黒石市)

サリジェ(文京町)、フェリオ(医学部)、クローバー(保健学科)
 アップルジュース等(板柳町) 雪入参入ムービー(深浦町)

プロジェクトに参加する県内17市町村

● 野々次町	弘前市	青森市	西目屋村	● 深浦町
● 藤崎町	むつ市	● 平川市	● 板柳町	● 田子町
● 南部町	蓮田村	● 東通町	● 階上町	● 三戸町
● 黒石市	● 中泊町			

※●が今回の参加市町村です。他は7月の「第2弾」までに実施しました。

包括連携協定とは？
 弘前大学では、地方自治体等との間で、相互の発展に資するため、教育、文化、産業、まちづくり、学術研究、健康・医療・福祉、自然・環境等の分野で協力する協定を結んでいます。

お問い合わせ！弘前大学社会連携部社会連携課(担当：高田) TEL: 0172-39-3702



学生支援と地域とのつながりの創出！



福田学長

Topics 2

電子決裁の取り組み



一部の部局で行っていた電子決裁について、令和5年6月より、全学での実施を開始しました。

DX化の一環として、行うものでペーパーレス化を念頭に実施するものですがその効果はペーパーレスにとどまらず、出張中にも決裁を行うことが可能となったり決裁後の文書を電子的に検索することが可能となる等、様々なメリットがあります。

本学においては電子決裁に限らず様々な業務についてDX化の可能性を模索しています。

業務改善！



福田学長

Topics 3

弘前大学校愛会事業 (令和6年4月～)



令和6年4月より、本学と学生及び卒業生との新たなネットワークを構築するため、「弘前大学校愛会事業」を実施し、本学と学生及び卒業生との緊密な連絡や交流を図る取組みを行います。

「弘前大学校愛会」会員向けの情報発信や情報収集、また本学・学生・卒業生の交流促進イベントなどを開催することを考えております。また、既存の各学部同窓会組織の活動支援も行っていきます。

本学を卒業した後も本学とのつながりを持っていただくことを目的に立ち上げた全学的な事業となっております。

本学とのつながりを
大切に！



福田学長

弘前大学の強み

地域に連携した研究で高い評価

- 弘前大学の健康増進プロジェクトが国内最大規模の研究支援制度「COI-NEXT」に採択
- 令和5年度の科研費 国立大学別採択件数は全86大学中26位
東北地区では東北大学に次いで2位！

きめ細やかな学生支援

- クラウドファンディングによる100円弁当・夕食
- 連携協定を結んだ自治体の地元産品の学生への提供

地域の拠点としての附属病院の機能

- 地域医療の最後の砦として、高度で先進的な医療を提供
- 大学収入の半分以上を附属病院収入が占め、大学経営を支えている

弘前大学の課題

○ 少子化への対応	学生の獲得と支援
○ 大学ブランド力の向上	遠方地域への認知
○ DX化の推進	業務の効率化・質の向上
○ 地域・民間企業等との連携強化	研究の質を向上、幅を広げる

課題解決のために
共に取り組む
人材として

求める人材

- ・コミュニケーション能力の高い人
- ・情報（IT）関係が得意な人
- ・主体性があり、何事も自分の事として取り組める人
- ・できない理由ではなくできる方法を導き出せる人
- ・自己管理能力

勤務条件

- 給与

初任給 (例) 大学卒 220,000円
修士卒 230,000円

各種手当 (通勤, 住居, 扶養, 寒冷地, 超過勤務手当等)
期末・勤勉手当 (年2回 6月と12月)

- 休暇等

年次有給休暇 20日/年 (4/1採用は15日) 翌年に繰越可
リフレッシュ休暇・結婚休暇・産前産後休暇
育児・介護休業

- 福利厚生

文部科学省共済組合に加入
(国家公務員と同様の制度が適用)

- 各種研修

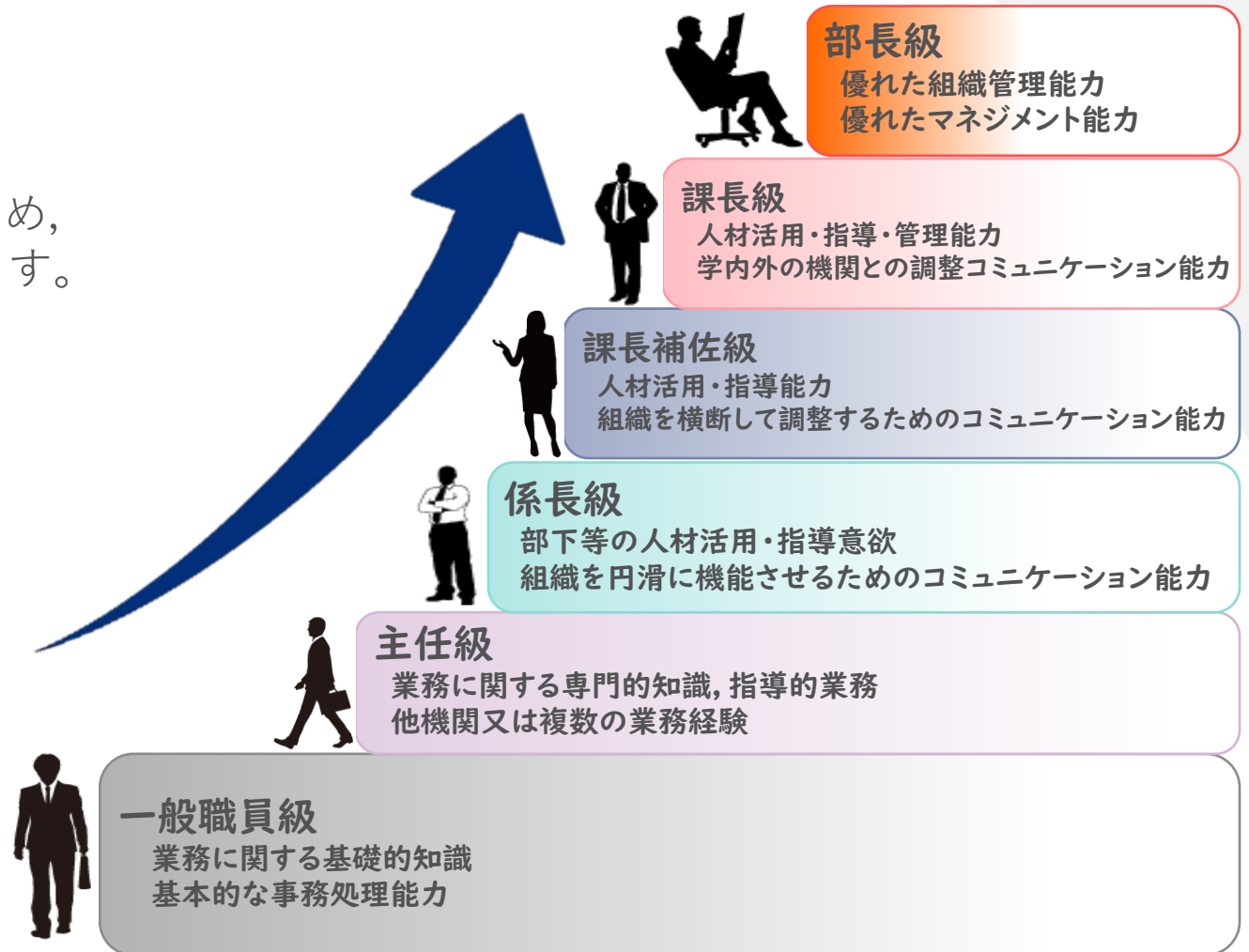
採用後職員のスキルアップのため様々な研修を実施
新採用職員研修、管理職研修等



弘大職員としてのキャリア

幅広い業務経験を通じて知識を広めるため、概ね2～3年ごとに学内部署間を異動します。

人事交流により他大学や文科省で一定期間勤務することもあります。



弘前大学

HIROSAKI
UNIVERSITY

学生さんの未来を
支える仕事です。
ぜひ、一緒に働きましょう！

Thank you!